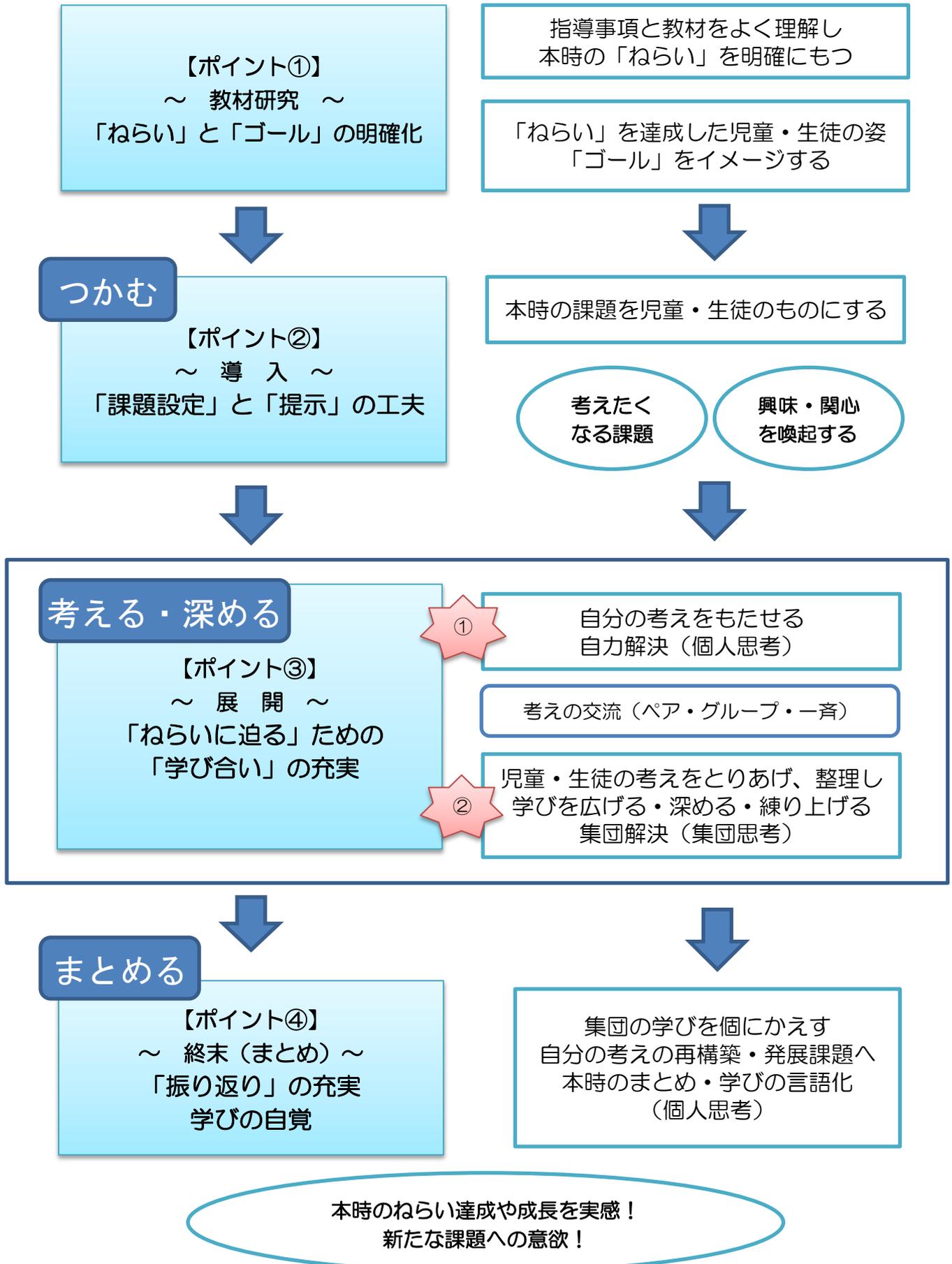
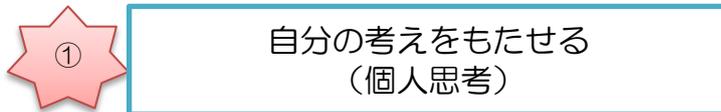
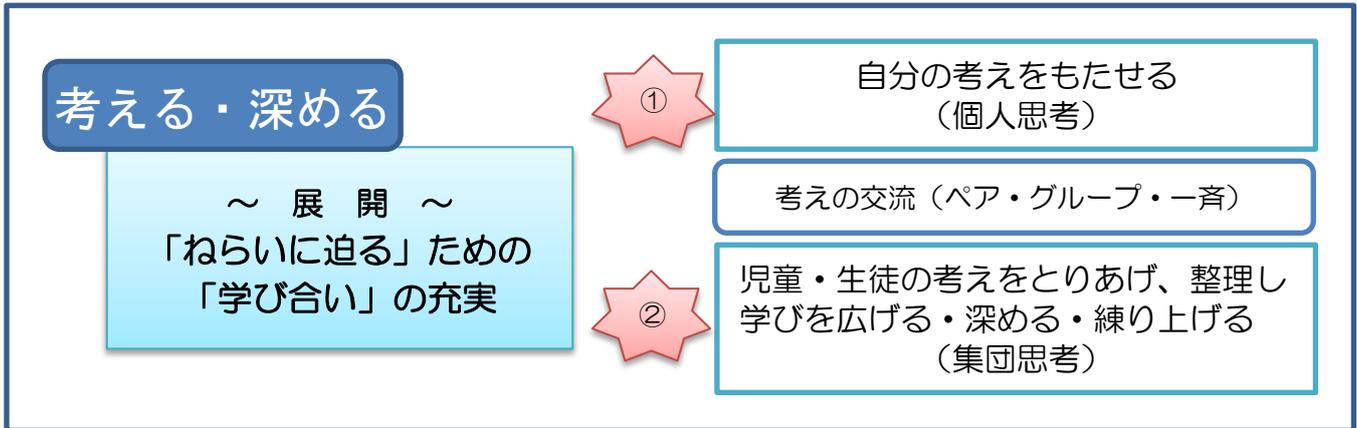


<授業改善のポイント>





◎これまでの「既習」や「体験」をもとに、考えさせる段階で“問い”を深める

(1) 「考えさせ方」の検討

- ・ノートやワークシート等の工夫
- ・考えるための道具は何か
- ・思考時間は確保されているか

(2) 個に応じた関わり



⇒ だから、友だちの話を聞いてみたいね

学び合いたくなる気持ちをつくる場に⇒それぞれの児童・生徒にあった関わりを



② 児童・生徒の考えをとりあげ、整理し
学びを広げる・深める・練り上げる
(集団思考)

◎子どもと子ども(グループとグループ)を「つなげる」「深める」関わり

焦点化

比較

類推

分類

補足

理由

根拠

変容



◎子ども(グループ)と教材・教科内容を「つなげる」「深める」関わり・問い返し



◎誤答を生かす

- ・誤答を取り上げて思考を深める。誤答によって、みんなで学びを深められたことも価値づける教師の言葉かけと温かな学級経営も重要

◎考えや意見を意図的に取り上げる

- ・机間指導中に児童・生徒の思考の様子を把握し、全体の思考が深まるためにはどの考えを取り上げるか、どのような順番で取り上げていくかを考えることも大切

◎個に戻って思考の変容を自覚させる

- ・自分の考え・友達のことを分けて書き、自分の考えがどう変容したかを振り返って自覚させることが大切

